

平成28年度3月定例記者会見 会見録

日時 平成29年3月24日(金)午後4時5分～4時20分

場所 市役所2階第1特別会議室

(市長)

はじめに、さきほど閉会いたしました3月定例会議につきまして、お話しをさせていただきま
す。定例会議につきましては、2月21日から32日間、ご審議をいただいたところございま
して、提案いたしましたすべての案件につきまして、ご議決をいただきました。議員の方々から
は、平成29年度当初予算をはじめ、共生社会実現に向けた取組や子育て支援策、広域交流拠点
の整備など、多岐にわたる質疑等をいただきました。市といたしましても、4月からスタートい
たします「新・相模原市総合計画 後期実施計画」を着実に推進し、本市が将来にわたり、活力
と魅力にあふれるまちとなるよう、引き続き、しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりま
す。

次に、4月1日(土)から開設いたします横山公園人工芝グラウンドについてでございます。
人工芝グラウンドは、横山公園内の老朽化した陸上競技場を廃止し、その跡地を活用して再整備
したものでございます。サッカーやラグビー、アメリカンフットボールのほか、グラウンドゴル
フなどのニュースポーツにもご利用いただけます。水はけが良く、雨天時にも利用でき、夜間照
明も完備していることから、多様なニーズに応じて、多くの市民の皆さまにご利用いただきた
いと考えております。なお、3月29日(水)にオープニングセレモニーを開催する予定となっ
ております。このほかにも、この春から供用を開始する新たな公園施設がございます。施設の概要
につきましては、お手元に配布しました資料をご参照いただきたいと思います。

次に、南清掃工場内に新たに開設するリサイクル施設等についてでございます。4月1日(土)
に開設する麻溝台リサイクルスクエアは、家庭で不要となった家具の中から、再利用ができるも
のを修理・清掃し、申し込みのあった市民の皆さまに毎月抽選で提供するほか、リサイクルに関
する理解を深める場として、体験教室などの取組を実施いたします。また、4月3日(月)には、
南部粗大ごみ受入施設が、同じ敷地内に移転いたしますので、受入施設で収集した粗大ごみをリ
サイクルスクエアで効率よくリユースやリサイクルすることが可能となるなど、清掃関連施設の
集約化により市民の皆さまの利便性の向上が図れるものと考えております。

次に、相模総合補給廠一部返還地での南北道路の供用開始についてでございます。この道路は、
相模原駅北口から町田市方面に繋がる南北方向の主要道路として整備を進めており、4月22日
(土)から供用を開始いたします。この道路の開通により、補給廠北側にお住まいの皆さまの相
模原駅へのアクセスが大きく向上いたします。開通日には、セレモニーを開催する予定となっ
ております。なお、一部返還地の道路整備につきましては、引き続き、東西道路の暫定整備を進め、
さらなる交通利便性の向上を図ってまいります。

最後になりますが、4月1日(土)と2日(日)に、第44回市民桜まつりを開催いたします。毎年恒例の「市民パレード」や多彩なステージイベントなど、市民が主役となって開催する市内最大級のおまつりです。銀河連邦共和国の物産展では、各共和国自慢の一品を味わうことができます。また、桜まつりの開催に先立ちまして、今月27日(月)からは、市役所さくら通りでの桜並木のライトアップを予定しております。ぜひ、多くの市民の皆さまにお越しいただき、大いにお楽しみいただきたいと思います。記者の皆さまも、ご都合がございましたら、ぜひ、取材をお願いいたします。

私からは以上でございます。

(記者)

南北道路について暫定整備ということになっているのですが、どのような点が暫定なのでしょう。

(市長)

相模総合補給廠の返還地のうち南北道路を整備する2ヘクタールにつきましては、将来、小田急多摩線が延伸される際に、南北道路の地下に線路が敷設される可能性がありますので、小田急多摩線の最終的な構造が決定するまでの暫定的な道路として整備を行ったものでございます。

(記者)

完成予想図を見ると照明灯が見当たらないのですが、そのようなところが暫定整備ということなのでしょうか。

(市長)

路面につきましては簡易的な舗装としており、歩道も片側のみを整備としております。照明灯の設置につきましては、確認いたしまして後ほど回答させていただきます。

(記者)

相模原総合卸売市場が閉鎖されることの影響について市長はどのようにお考えですか。

(市長)

卸売市場ということで、飲食店関係者や一般の市民など多くの方に利用されていると認識しており、市場が閉鎖されることにより、利用者は不便になるものと感じております。現段階で卸売業者から移転に関する相談などは市に寄せられておりません。民間で運営している市場であるため、市として主体的な動きはしておりませんが、今後の動向について注視し、相談を受けることがあれば、しっかりと対応していかなければならないと考えております。

(記者)

市場内の業者や商店の中には、存続を求める声も多くあると聞いておりますが、市として新たな市場の土地を探すなど支援をする考えはあるのでしょうか。

(市長)

市場関係者がどのような意向を持っているのかなど、市にご相談があれば、市としてできる支援はしていきたいと考えておりますが、現段階では今後の方向性をしっかりと見極めていかなければならないと考えております。

(記者)

現在、市場には店舗がどのくらいあるのですか。

(梅沢副市長)

約40店舗と認識しております。

(記者)

鮮魚や生鮮食品など、内訳はどのようになっていますか。

(梅沢副市長)

内訳については承知しておりません。

(記者)

市場の業務形態としては小売市場で、競りは行われていないのですか。

(市長)

競りは行われておりません。築地市場に例えるなら、場外市場のような形態です。

(記者)

4月から、こども・若者未来局が新設されるということですが、新設される意図を教えてください。

(市長)

社会のニーズとして、子どもを産み、育てる段階から青少年期までの支援を一元的に対応できるようなサービスの提供が求められており、行政組織といたしましても一元的な対応が可能な体制を整える必要があるものと考えております。妊娠期における相談や子どもの検診の補助、発達障害への支援のほか若者の自立支援など、それぞれ専門の部署で対応してきたことを総括的に行う「子育て支援センター」を新設するなど、組織体制の整備を行ったものでございます。

(記者)

南北道路は相模総合補給廠の北側から相模原駅北口までつながるといふことでよいのでしょうか。

(市長)

現在、補給廠北側の市域や町田市から相模原駅に来るためには、車だけでなく人や自転車も、補給廠を大きく迂回する必要がありますが、南北道路が開通することで、総合相模更生病院付近

まで直線的に来ることが可能になります。

(記者)

南北道路の本整備については、横浜線の立体交差と小田急多摩線の延伸の状況を考慮しなければできないということでしょうか。

(市長)

補給廠の一部返還地や共同使用区域の整備など全体計画をこれから詰めてまいりますので、南北道路の本整備についても、その際に決定していくものと考えております。今回、南北道路を暫定整備したことは、補給廠北側にお住まいの方の利便性の向上という目的もありますが、今後、整備する東西道路とあわせ、スポーツレクリエーションゾーンなど、今後整備を進める施設の工事関係車両の通行ルートを確保する目的もあります。

(記者)

小田急多摩線は地下に延伸される構想で、横浜線は高架もしくは地下で立体交差化されるということでしょうか。

(市長)

相模原駅周辺のまちづくりが進展していくと、暫定的に整備を行う南北道路や東西道路のほか既設の道路だけでは対応ができなくなり、新たに相模原駅の南側と北側の結ぶ経路の確保も必要になることが想定されます。その際、新たな経路と横浜線が平面交差をすると踏切を介することとなりますが、多くの機能が集中する新たな拠点においては、交通量の増加なども想定され、平面交差で安全な交通環境の確保が課題となります。これまでも市では、安全対策のため踏切の立体交差化を進めてまいりましたが、新たに国においても全国各地の危険な踏切の指定がされ、相模原駅の周辺においても向陽町踏切や小原踏切などが指定を受けるなど、全国的にも踏切における安全対策が課題となっております。以前、小田急相模原駅の再開発にあわせて小田急線の立体交差化を隣接する座間市とも協議したことがありましたが、実現にいたらず、踏切が残存しており、いずれは立体交差化を行わなければならないと考えております。また、市としては、引き続き相模総合補給廠の全面返還を求めています。返還が実現した際に、横浜線が現状のまま地上にありますと、相模原駅から矢部駅間の南北間の往来にも支障が出てまいります。これらの課題を解消するため、事業主体となるJR東日本や国などと、2027年のまち開きに向け、立体交差を含めた手法の検討や事業スケジュール、財政的な対応など、調整を進めてまいりたいと考えております。

(記者)

横浜線が立体交差化される場合、相模原駅の駅舎は移転するのですか。

(市長)

鉄道事業者であるJR東日本の考えや、まちづくり全体の計画の中で決定するものと考えてお

りますので、今後、具体的に検討していくことになります。

(渉外部長)

先ほどご質問をいただきました南北道路の照明の件でございますが、返還地内につきましては、計7本の照明灯を新設します。また、米軍基地に隣接する箇所では、基地内の照明により明るさを確保いたします。

以 上